



県がすすめている取り組みを紹介します！

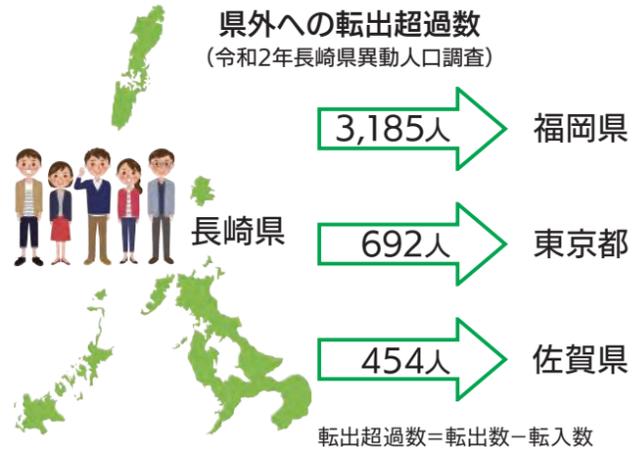
移動理由アンケートを実施しています

県では、お住まいの市町から転居する手続きの際に、転居の理由などを回答していただくアンケートを実施しています。より良いまちづくりのため、転居される場合にはアンケートへのご協力をお願いします。

移動理由アンケートとは？

●はじめた理由

本県では、全国でも早いスピードで人口減少が進んでおり、その要因の一つである人口の県外流出について、転入・転出の理由などを把握することが課題となっていました。そこで、移動理由の実態を明らかにし、効果的な施策の立案につなげる取り組みとして始まったのが移動理由アンケートです。令和3年3月、県と県内21市町が一体となって開始しました。



●アンケートの内容

アンケートでは、転入・転出の主な理由や転入・転出する方の業種、県外への転出の背景などについて伺います。対象は、県・市町をまたいで転入・転出される方で、県内の各市町の市役所や町役場、各支所の窓口で実施しています。

- ※回答内容は個人が特定されないよう処理し、統計を作成する目的だけに使用します
- ※県内の別の市町に転入する時もアンケートが配布されますが、転出時に回答していれば、1つの設問で終了します
- ※アンケートはスマートフォンでも回答できます

転出数は分かるのですが、その理由が分かっていたのです



移動理由アンケートの結果をどう活用するのか？

県内全域で統一した調査を行うことにより「どこに(場所)どうして(理由)何をしに(業種)」といった客観的なデータを得ることができ、ターゲットを絞ったより効果的な取り組みを行うことができます。

活用例 ①

地域を絞った施策の展開

転出した方の理由(就職、転職、進学など)が転出先ごとにわかる

活用例 ②

年齢層や業種を絞った施策の展開

転出した方の年齢層や転出先での業種(製造業、情報通信業など)がわかる

転出が多い地域や若者の就職が多い業種に絞った情報発信など、より効果的な施策の立案・展開ができる



有限会社小山水産
(西海市)

お話を伺ったのは
代表取締役
こやま ゆうき
小山雄樹さん

30年前、獲る漁業から つくり育てる漁業に

西海市西海町に本社を置く水産会社で、父の小山文雄が創業しました。1970年代までは刺網漁を中心に行っていましたが、水揚げ量が減少したため、ハマチの養殖や天然種苗を利用したマダイ養殖に着手しました。養殖技術の改善と魚種の拡大に取り組んだことで価格変動のリスクを回避することができ、生産規模の拡大と経営の安定を図ってきました。



養殖場を併設した本社。他にも大規模な種苗生産施設を持つ



本社に隣接した活魚販売所のいけすではマダイやシマアジ、イセエビなどが泳ぐ

流通・小売・外食への 進出で付加価値化を図る

1992年に法人化してからは、いけすや水槽を整備して活魚販売を開始し、次いで、マダイやトラフグの種苗生産、1999年には地元ニーズに応える活魚料理店「小安丸」をオープンしました。また、近年はアメリカへの輸出用にブリを養殖しています。2019年には一連の6次産業化の取り組みが評価され「ながさき水産業大賞」特別賞を受賞しました。



新しい人材を育て 積極的な経営展開を

正社員は養殖、種苗生産、活魚販売、料理店を合わせて20名います。今年度若い社員を採用したところ、社内が活気づき、仕事面でも良い影響が出ています。今後、経営の拡大を図っていくためにも若い人の力が必要ですので、できれば毎年、採用を続けていきたいと思っています。地元の小売店はもちろん、多くの料理店で当社の魚を使っていただけることがありがたいです。今後も雇用の創出などを含め、地域に貢献できるよう頑張ります。



新鮮なうちに真空パックされた魚を各地方へ発送している



魚の種苗生産から養殖、販売、活魚料理店まで、水産業を柱に多角経営を実践中！